

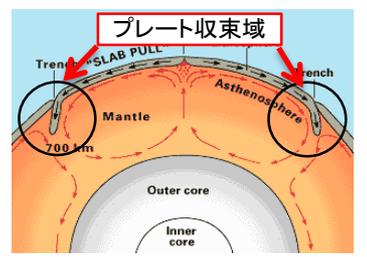
プレート収束域の物質科学研究拠点

研究拠点リーダー： 井上 徹
(先進理工系科学研究科)

プレート収束域での諸現象を物質科学的見地から解明

目標

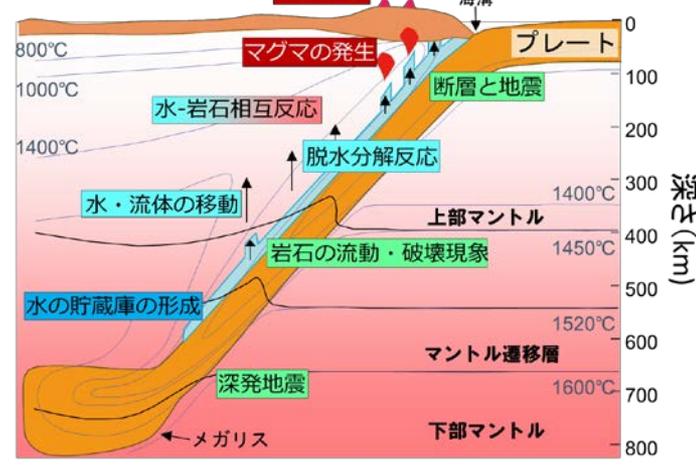
プレート収束域で生じている「**水と岩石の相互作用**」の重要性に着目し、地球科学的諸現象、特に**地震活動**や**火山活動のメカニズム**を**物質学的見地**から解明することを目指します。



マンテル対流概念図

背景

地球は「水の惑星」として知られており、表層には莫大な水が存在します。この水はプレート収束域において海洋プレートを構成する岩石と共に地球深部にもたらされています。この「**水**」こそが、プレート収束域で発生する**地震活動**や**火山活動**など多くの**変動現象のトリガー**となっていることが知られています。



プレート収束域で生じている重要な現象

活動内容

学内外との連携

プレート収束域の物質科学研究拠点



広島大学

海洋研究開発機構 プレジデンシー大学 (インド)

連携機関

愛媛大学 地球深部ダイナミクス研究センター バイロイト大学 (ドイツ) ストーンブルク大学 (アメリカ)

研究活動の推進

プレート収束域での地震
活動・火山活動の解明

- 岩石と水の循環
- 断層運動と地震発生の素過程に与える水の影響
- マグマ発生過程に与える水の影響

効果

- 学際的研究体制の確立
- 若手研究者や大学院生の国際化

拠点内外との国際研究連携

研究力の向上

世界トップレベルの研究拠点

- 質の高い論文の増加
- 外部資金の獲得増
- 拠点運営の自立化

- 国際的にユニークなプレート収束域研究拠点へ
- 世界的レピュテーションの向上